

令和2年度

華学園栄養専門学校

自己評価・学校関係者評価報告書

# 基準項目ごとの学校自己評価及び学校関係者評価・意見

## 基準1 教育理念・目的・育成人材像

### 自己評価結果

華学園の建学の精神は「華学園の教育を通じて、時代の求める職業人を育成し、社会の発展に寄与すること」である。教育の目的は、「学校教育法並びに栄養士法に基づき、栄養に関する知識及び技能を修得させ、あわせて社会人として必要な一般教育を授けて栄養の指導者を養成し、もって国民福祉の増進に寄与すること」である。

教育理念は、「時代に即した社会のニーズに応ずることのできる人材を育成すること」である。学生を教育するためには、教員の資質も重要課題であることから、「専門的知識と技能を有し人格に優れ、エビデンスを重視した教育の実践が確保できる者」を教員として採用していく。

栄養士科は「企業が求める調理技術や献立作成力をもった調理も巧みな栄養士の養成」、管理栄養士科は「高度の専門知識・技術を要する健康保持増進のための栄養指導、傷病者への栄養指導、そして、特別な配慮を必要とする給食管理等のできる管理栄養士の育成」を目標としている。また、校訓の「誠意、熱意、創意」に基づき、時代や社会環境の変化に応じて柔軟に対応できる栄養士・管理栄養士の育成を目指すとともに、社会人としての礼儀やマナー、コミュニケーション能力や課題解決力もあわせて育成すべきであると考えて、教育活動に取り組んでいる。

## 基準2 学校運営

### 自己評価結果

基本的な運営方針は定められている。教育方針に沿った形でカリキュラムや授業が編成され、授業実施に向けて設備投資や人材確保がなされている。学園本部と学校の幹部職員で決定された方針のもと、各部、各担当が年度計画を作成し、予算案を提出する。予算の執行に関してはその都度、稟議書を作成しチェックする体制がとられている。

運営組織は明確になっており、法人部門と学校部門の権限と職務分掌がなされてきている。基本的な日常の事項は各部・係の責任者が決定し、栄養士科・管理栄養士科全体の総括的な運営は、学校長の決裁のもと、各学科長、教育部と教務課で行っている。

多大な設備投資や、人材雇用については稟議制度に則り承認を得るシステムがとられており、人事や賃金での処遇に関しては、半年毎の人事考課により個人が目標設定し、その達成度合いを自己評価し、その後、直属上司による個人面談で評価を行っている。それを学園本部が総合的に相対評価している。

華学園は、平成28年に学園創立70周年を期に示された「中期三ヵ年計画」が終了を迎え、「新中期三ヵ年計画」を検討する予定であったが、コロナ禍のため中断している。単年度の事業計画は立案（重点目標）され執行されているが、「新中期計画」を早期に明文化し周知しなければならない。今後は栄養士科・管理栄養士科とも、いかに定員確保を行うかが重要な課題であり、本校の魅力を打ち出すためには、職業実践専門課程の目的に沿ったカリキュラム等の見直しや、関連企業が求める社会のニーズに適った学生の育成のプログラムなどの改善の検討および速やかな実施が不可欠である。

## 基準3 教育活動

### 自己評価結果

本校は、厚生労働省より認可された栄養士養成施設及び管理栄養士養成施設であるため、栄養士免許取得及び管理栄養士国家試験受験資格を取得するためのカリキュラム及びその教科目は、栄養士法(栄養士養成施設指導要領、管理栄養士養成施設指導要領)で定められている。

建学の精神である「社会で貢献できる職業人の育成」及び職業実践専門課程の実施に基づき、就職先の関連企業が求

める人材の育成について、教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会の意見を求め、より実践的な職業教育実施に向け役立っている。

栄養士・管理栄養士分野の就職率 100%、中途退学者 0%、管理栄養士科においては管理栄養士国家試験合格率 90%以上の達成、栄養士科においては栄養士実力認定試験「認定 A」取得 70%以上を目標としながら、献立作成、調理技術・給食業務の実践力が身に付くよう教育を行っている。

教育内容については、学生による授業評価を行い、担当教員、科目、クラス毎に評価結果を集計し、その結果を担当教員にフィードバックし、教育活動の資料として活用し、授業の資質向上を図っている。

教員については、栄養士法の基準等に準拠しており、さらに職業実践専門課程の認定要件の内容に則り、研究活動、企業研修を進め、専門的、実践的教育のレベル向上を図っている。

## 基準 4 学修成果

### 自己評価結果

就職率の向上は、職業実践専門課程の認定を受ける専門学校としては重要な目的と使命である。

本校では就職率 100%を目標に、就職担当、クラス担任が協同で学生指導にあたり、就職希望者に対する就職率は高い数字を維持している。また、栄養士又は管理栄養士の資格を活かした就職率についても、100%達成を目指している。

栄養士免許は、栄養士科、管理栄養士科とも、学則で定める規定のカリキュラムを修了した者に授与されるが、栄養士としての知識の定着を図る手段として栄養士科 2 年生、管理栄養士科 3 年生の全員に栄養士実力認定試験を受験させている。栄養士科では「認定 A」取得率 70%以上、「認定 C」0%の目標を掲げているが、令和 2 年度は栄養士科「認定 A」65.9%、「認定 C」0%、管理栄養士科「認定 A」100%であった。

さらに管理栄養士科を修了した者には、管理栄養士国家試験の受験資格が与えられ、卒業後の国家試験に臨んでいる。本校は合格率 90%以上を目標に試験対策をすすめている。

就職先企業に卒業生の勤務状況や業務における知識や技術に関する「評価アンケート」を行い、本校での学修成果が就職先企業でどのように活かされ、評価されているかなどを見極め、企業が求める人材像育成のためのカリキュラムの見直しや編成に用いている。卒業生が勤務する企業における、学修成果、社会的活躍及び評価については概ね好評価を得ている。

## 基準 5 学生支援

### 自己評価結果

少子化による大学全入時代を迎え、専門学校に於ける「学生支援」は、学生確保の上からも充実させる事が不可欠である。

本校では 3 校合同の学生係を設け、就職支援や学生生活の支援を組織的に取り組んでいる。

就職支援、就職指導は、就職担当教員、担任との連携により就職活動年間計画を作成し、実施するとともに、新規開拓による就職先の拡張、学生への教育指導の充実を図っている。

中途退学への対応は、学力及びメンタル面のサポートを、学科長や担任、副担任をはじめ全教職員で取り組んでいるが、メンタル面で問題を抱える学生が増加しており、今後専任のカウンセラー等の配置を検討して行く必要がある。

栄養士科卒業生への管理栄養士通信講座は、基礎コース・演習コース(3 年間)を実施している。3 年間のフォローアップは他校には無い特徴であり、受験者増、合格者増に繋がっている。

## 基準 6 教育環境

### 自己評価結果

厚生労働省認可の栄養士・管理栄養士養成専門学校であるため、栄養士法により施設・設備は規定されている。また本校の特徴として実践力をつけるためにそれ以上の充実した設備を備えている。

図書室を設け、司書も常駐している。専門書及び学術雑誌を配置し、年間計画の中で専門分野に応じて希望する蔵書等を購入、配架している。

感染症対策として、校舎入口にアルコール消毒スプレー、自動検温器を設置するとともに、学生の健康管理表を作成し、学生は登校日に必ず記入することで健康管理に対する意識の向上を図っている。

防災・防火体制については、組織体制を整備し年2回訓練を行っている。学生には防災セットを持たせ、携帯するように習慣づけている。その他、災害対応マニュアルの作成、自動体外式除細動器、緊急地震速報の設置、火災保険への加入等、防災に対する体制は整備されている。

薬品等の危険物の管理は、専用のキャビネットで保管され、管理している。行政の指導を受け、適切に実施している。実習・実験時に使用する設備・機器等の取扱いについて、使用及び事故防止のためのマニュアルを整備している。

## 基準 7 学生の募集と受入れ

### 自己評価結果

学生募集・受け入れは、学園広報が中心となり教務部と連携協力し実施、パンフレットや募集要項の作成、高校ガイダンス、オープンキャンパス、学校見学、ホームページの整備を行っている。昨今の入学志願者の傾向から情報収集の手段としてスマートフォン等の活用が顕著であり、SNS、ホームページからの積極的な情報発信とそのインパクトを上げるため、ホームページがスマートフォンでも見られるよう対応している。

出願は、高校ガイダンス、会場ガイダンス、オープンキャンパス参加者がほとんどである。オープンキャンパスの内容を多様化し、複数回参加により出願率の向上を図った。また、個別相談を実施して学校の内容の理解を図り、入学後のミスマッチが無いよう取り組み、1年次の退学率低減に繋げている。さらに、夜間のオープンキャンパスや説明会を増やし、参加しやすい環境づくりを行った。

管理栄養士国家試験の高い合格率、高い就職実績の他、栄養士の卒後国家試験支援等は、学生募集に大きく貢献している。

栄養士の入学選考は、高校の成績及び欠席状況を基準とした学校推薦によるものが多い。面接は、教職員2名又は3名で実施し、意欲や目的意識が明確であるかの確認を行っている。管理栄養士科は筆記試験と面接試験を実施し、総合点をもって可否を判定し、学校長、理事長、学科長、広報担当者らによって構成された選考会議で受験生の可否を確定している。

ここ数年経済的な理由により入学辞退や退学するケースが増えていることから、多様な経済支援制度を導入するとともに、経費削減等の学園努力により学納金の増加を抑えて学生の負担を低減している。

## 基準 8 財務

### 自己評価結果

充実した専門教育の実施に必要な教職員、施設設備等を確保して、学校運営を行っており、借入金も無く設備投資等も全て自己資金で行うなど、中長期的な学校の財務基盤は安定している。

主要な財務数値についても各種会計資料等を有効に活用し、推移を正確に把握しており、年度予算の執行についても妥当であると認識している。

財務の監査については、本学園顧問の公認会計士の指導により適正な決算書類を作成して、監事の監査に臨んでいるが、今後は外部監査の検討も必要である。

財務情報の公開については、保護者等関係者の理解と支持を得るためにも極めて重要であり、閲覧申請書による財務書類の公開だけでなく、学校法人会計基準に準拠した形式によりホームページ等インターネットを活用し行なっている。

## 基準 9 法令等の遵守

### 自己評価結果

各種法令の遵守は学園の根幹に係わる事項であり、本校学則をはじめとして明確に方針化されている。日常業務において法令からの逸脱等がないよう、職員会議をはじめとする会議等での自由な議論が展開されている。また、新年度には前年度の総括をふまえ、各教職員からの改善のための提案が出され、予算的措置も含め、単に法令遵守にとどまることなく、「よりよい学園の構築」のために改善が図られている。

個人情報の保護に関しては、現在、学生の個人情報に関する書類(本人調査書等)を教務部で管理している。また、学籍簿や成績表などの電子データは、アクセス制限を加えた専用コンピュータで管理している。その他関係書類は施錠できる棚や机での管理を行っているが、現時点ではより機密性が高い集中的な管理システムは構築されていない。

## 基準 10 社会貢献・地域貢献

### 自己評価結果

厚生労働省は糖尿病等生活習慣病とその予備軍の減少を念頭に対策を打ち出している。そのひとつに特定健診・特定保健指導があり、健康の増進、生活習慣病予防の場面での栄養士・管理栄養士の活躍が期待されている。本校では建学の精神として「華学園の教育を通じて時代の求める職業人を育成し社会の発展に寄与する事」とうたい、社会の要請に応えうる栄養士・管理栄養士の養成に努めている。

地域貢献の一環として、地元台東区教育委員会の求めに応じ、例年、台東区内小学生への食育の授業として「だし」の体験授業を行っているが、今年度はコロナ禍により直接児童に教える体験授業は行わなかった。代替えに本校教員が家庭科教員向けに講座を行い、家庭科教員を通じて児童に体験授業を行った。また、台東区清掃リサイクル課におけるエコクッキング講座に教員を派遣した。

学生の地域貢献として、学園周辺のボランティア清掃を実施している。

なお、本年度は、東京都主催の代々木公園での食育フェアは実施されなかったため、参加していない。

## 学校関係者評価委員からの主なご意見・対応等

### <教育活動>

#### 1. 学生の質の向上

##### ①療養食作品審査会の実施【管理栄養士科】

- ・年々学生の調理レベルが上がっており、見た目も良く大変すばらしいと思います。課題としては、点数の低かった学生のレベルをどう上げるかだと思います。食材の使い方や、彩り、季節感などを習得させる意味で、食材や季節、行事内容を全員統一してみるのも面白いと思います。違いがはっきりすると思いますが、学生に気づきを与えられるのではないのでしょうか？

⇒ ご提案ありがとうございます。令和2年度の療養食作品審査会はコロナの終息が見通せないため、例年通りの実施はできませんでしたが、作品を公平に比較するために食材等を統一することは素晴らしいアイデアだと思います。統一した内容で行うことも今後検討してまいります。

- ・療養食作品審査会は、毎年改善が見られていただけに、開催見送りは学生にとって非常に残念であったと思料します。

##### ②個人作品審査会の実施【栄養士科】

- ・コース別学習内容、就職先を考慮したのはいいと思う。さらに、丁寧な振り返りはとても重要なことで良かった。一層活かすものにすべく改善を重ねてください。
- ・栄養士科でも高得点者と低得点者の差が大きいと感じました。ただ、対象者が幼児、学童であるので、どちらのレベルにおいても「子ども心」の様なものをもっと前面に出しても良いのでは？と思いました。懐石料理よりもお子様ランチ的なイメージです。

⇒ 得点に差があるのは、個人の技術力の差によるものです。特に、低得点者は対象者に対して適切な食品選択や切り方の理解が不十分であったり、提出物に不備がみられたりする学生が多いように感じますので、対象者に対しては栄養面のみならず、見た目の美しさも重視し、できる限り同じレベルまで引き上げられるよう教育していきます。

##### ③臨地実習報告会の実施【管理栄養士科】

- ・学生がそれぞれテーマを持ち、スライドを作成して発表するというスタイルは大変良いと思います。これを機にさらに深く掘り下げ、学びを深めてもらえると良いと思います。
- ・今年度は、コロナ禍で実習先の確保が難航したのではないかと推察いたします。教員の方々のご尽力を労いたいと存じます。

⇒ 本校では、今後でもできる限り学外での実施を目指してまいります。万一の学内実習に備え、日本給食経営管理学会が作成した「臨地・校外実習振替プログラム」等を参考に、指導内容と方法の検討も必要と考えます。

#### 2. 教員の資質の向上 — 教員による教育研究の実施 —

- ・学園が成長する土台は、先生方の資質の向上が何より大切と考えます。その点に関しての取り組みは評価できると思ひ、更に発展・継続してください。

⇒ 令和2年度は東京都私学財団の研究助成事業に2演題が採用されました。令和3年度は引き続きの教育研究活動に加え、教員研修の校内実施を検討し、全体的な教員資質の向上に一層の充実を図っていきたいと考えております。

- ・学生の指導のみならず、先生方においても学びを深められていることに頭が下がります。大変お忙しいとは思いますが頑張ってください。

## <学修成果>

### 1. 管理栄養士国家試験合格率 90%以上【管理栄養士科】

- ・国試合格率が学校をアピールする何よりのセールスポイントだと思います。高い合格率を維持できているのは先生方の努力の結果だと思います。
- ・諸先生方の日々の授業や放課後ゼミ指導等の賜物だと思います。今後も生徒への親身な対応で、生徒の支えとなってあげてください。
  - ⇒ 高校生が華学園管理栄養士科への出願を決める第一理由が国家試験合格率であり、保護者は、卒業単位履修者を全員受験させる学校の姿勢を評価しています。今後も、OC やパンフレットなどの媒体を通して積極的にアピールしたいと思います。

### 2. 栄養士実力認定試験「認定 A」70%以上の達成【栄養士科】

- ・前年に比較して、認定 ABC の構成比が大きく改善しており、成果が表れていると思われます。
- ・この実力認定試験がもっと世間に浸透し、資格を有する事へのステータスが向上できれば外部へのアピールになると思います。
  - ⇒ 業界全体の認知度アップは本校だけで取り組めるものではありませんが、本校として出来ることは実力認定試験で「認定 A」を取得させ、実力のある栄養士を育成していることを知ってもらうことだと思うので、今後も努力を重ねていきます。

## <学生支援>

### 1. 資格を活かした就職率と就職の質の向上

- ・コロナ禍においても求人者数は変化がないとのことで、栄養士業界としてはコロナの影響はあまりないとの考察があり、大変喜ばしいと存じます。
- ・概ね希望の業種に就けたことは先生方の指導力が活きた結果だと思われます。新たな分野への育成にとっても期待します。全体としてコロナで大変厳しいと思いますが、学生にとってハンデとならない様、各改善策の重要度、優先度を考え実行してください。

## <学生の募集と受け入れ>

- ・募集活動では、コロナ禍の中でしっかり実施されていると思います。しかし、募集活動の入口のホームページはとても重要なので、更なる改善が必要かと思います。
  - ⇒ 現在、ホームページの改定に着手しております。栄養校のアピールポイントをしっかりと受験生に伝えることができる内容を盛り込めるように努力いたします。
- ・管理栄養士科の出願数が目標数に達したことは、管理栄養士国家試験合格率の高さから来るものだと思います。反面、栄養士科は目標数に未達となった事から見ると、栄養士科のアピールポイントが不足しているのではないのでしょうか？コロナ禍で難しい点も多々あると思いますが、オープンキャンパス等でのアピールをお願いしたいと思います。
  - ⇒ 現在、卒業生対象の管理栄養士受験対策として通信講座や対策講座など行っているのですが、卒業教育の充実を OC の教務説明やパンフレット等で訴求効果を高めたいと思います。
- ・オンライン説明会など工夫されているが、YouTube などを活用したバーチャルな OC の開催ができれば、主催者側・参加者側の双方に便益があり、学校の認知度向上や出願数の増加等の効果が期待できる可能性があるのではと推察します。

⇒ 新型コロナウイルス感染防止の観点からもオンラインを活用した OC の開催は必要だと考えております。広報とタイアップし、どのような形で実施できるか検討していきます。